

夢をかなえるため、  
二足のわらじを履く

# 働き方改革が進む今 副業は企業と社員を救う一手になる



労働力不足から働き方改革が推進される今、副業が新たな注目を浴びています。私こと、上野泰弘は、大手通信会社を40歳で退職し、珈琲豆ビジネスとITベンチャー企業を立ち上げ、現在もIT企業のマネージメント業務支援に関わらせてもらっています。いわば、社員から経営者までの心情を理解できる立場です。そこで今回は、未来の企業と社員を救う「副業のすすめ」を語ってみます。



## 大手通信会社を40歳で退職し 珈琲事業とIT企業を設立

2019年4月から施行された「働き方改革法」では、副業・兼業が推進され、企業側、社員側どちらの立場でも、注目度が高まっています。では、実際にどれほどの人が副業を行っているかをまずはデータで把握してみましょう。

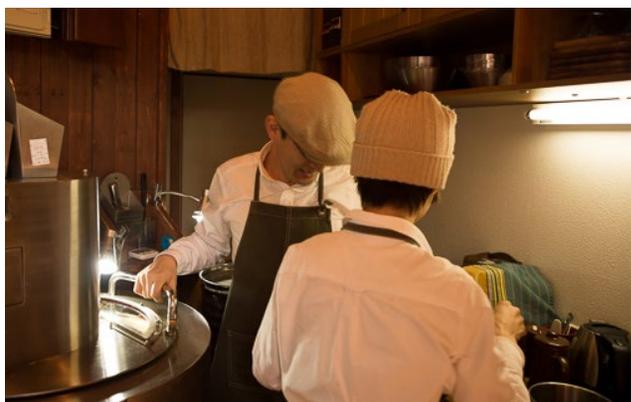
総務省「就業構造基本調査」によると、副業している人の割合は、2012年の3.6%から2017年は4.0%と上昇していますが、ここ20年はおおむね横ばい傾向です。4.0%は人口にすると約268万人。副業の目的としては、「生計の維持」「貯蓄、自由に使えるお金の確保」が多数を占めています。

でも、私は、経済面以外にも会社員が副業をするメリットはあると考えます。自身の体験を交えながら、書いていきます。

私は、大手通信会社を40歳で退職し、珈琲豆ビジネスを最初は個人事業主として始めました。それと同時にITベンチャー企業を設

立。その後、珈琲豆ビジネスを法人化し、現在は別のIT会社の経営支援をしたり、社外取締役も務めています。

珈琲豆ビジネスを立ち上げた当時は、ベンチャー企業でも働いていたので、ある意味、趣味であった珈琲豆を副業で始め、正業にしたともいえます。会社員から経営





者までを経験した私が、企業側、経営者側から副業のメリットを挙げてみましょう。

企業のメリットは人件費の削減です。その働きに対して高給であったり、戦力となっていない社員を、退職させるのではなく、将来に向けた新しい働き方に導けます。「週に2回、3回の出勤でいいから、給料をこれだけに減らすね。あとは副業でも自由にどうぞ」ということがカジュアルにできるのがメリットです。高齢化社会にともない定年も引き上げられていますし、社員は50歳、60歳、70歳と続けられる仕事を探せません。

私も、珈琲豆ビジネス以外に月に何度かIT企業の会議に出席し、報酬を得ています。IT企業の社長からは、「普段いないからこそ力を発揮できている」と伝えられました。このように会社側から見ると、いいパフォーマンスをする人材を安く雇うことができます。例えば、フルタイムなら年収1500万円払わなければならないほど優秀な人を、週2回勤務なら600万円ほどで雇えるのです。

ただし、現状、日本の会社には「副業禁止の就業規則」が多いという課題があります。政府は2018年「モデル就業規則」から



## 副業なら時間が限られているので 仕事へのモチベーションアップ！

逆に社員側のメリットはなんでしょう？

実例を紹介します。私が在籍した全社員30名のIT系中小企業で6名が副業を始めています。全員の職種がエンジニアで、あくまでも私の主観を書きますが、参考になるとと思います。

「許可なく他の会社等の業務に従事しないこと」という規定を削除しました。それにより、副業解禁の流れは、大企業にも浸透していくと考えられます。

以前在籍した会社では、私が先例となって「副業可能」の就業規則を作ってもらいました。私は珈琲に関わるビジネスで生きていくことが夢だったので、コソコソと顧客を作り、その後珈琲豆の仕事がメインになっています。

企業のメリットとしては、「人件費削減」、デメリットとして、「就業規則の変更が必要」となります。

この6名分の人件費は減少し、仕事のパフォーマンスはあがりました。

なぜなら副業をしている社員は会社に週に5日、フルタイムという勤務ではありませんが、会社にいる時間が短く、限られているがゆえに、自分になにができるかを

考え、必死に貢献しようとしています。つまり仕事に対するモチベーションがあげられます。

当人たちにヒアリングしたところ「1社に依存しなくても大丈夫だと自覚し、精神的な余裕ができた」「会議などで上司に対して主張すると、会社にいずらくなると考えていた。だが、しっかり言うべきことを言うと、上司との関係性もよくなり、仕事が進めやすくなった」と語っていました。

私から見ると、副業した社員たちは「視野が広がっている」と思います。ほかの会社の仕事の進め方、現場を見てくるので、会議



などで発言の幅が広がります。若い人は特に2つの世界を見ること  
が経験につながると思います。6  
名のうちの1人は28歳のエンジニア  
です。彼は、社員数30名の企業  
に属しますが、副業の仕事は社員  
数1万人規模です。現場では、2  
〜3人のチームと数百人のチーム  
の仕事は、ルールから進め方まで、  
なにもかもが違います。大手の仕  
事のやり方を、中小で試すことも  
できるし、その逆も可能です。

また、副業のために、今のスキ  
ルを別の就業先に認めてもらわな  
ければいけません。つまり自分の  
持つスキルをより高めることにな



ります。

副業で人脈作りを考える方もい  
ますね。前例のエンジニアの場合  
は、もともと人付き合いが苦手な  
ため、会社に仕事は持ってきてく  
れませんでした(笑)。本来は  
新しい案件を取ってきたり、仕事  
の幅を広げる効果があると思いま  
す。ちなみに6名とも副業前より  
収入はアップしているそうです。

まとめてみると、社員にとって  
の副業は、「モチベーションアッ  
プ」「視野の広さ」「スキルアッ  
プ」「人脈」「収入アップ」など、  
とても多くのメリットがあるので



## 副業でのトラブル対応が 本業に影響を与えることも

では、社員にとって副業のデメ  
リットを挙げてみます。

まず、うまくスケジューリング  
ができなければ、体力的、精神的  
に厳しさを感じる人もいるでしょ  
う。私も珈琲事業の修行をしなが  
ら、IT会社で働いているときは  
キツかったです。特に本業と副業  
の配分のバランスが難しいです。

最初は9：1で始めても、副業の  
方が楽しかったり、やりがいがあ  
れば、8：2、7：3と割合が増  
えていきます。そのときに本業の  
仕事の断り方や後任、引き継ぎな  
どを考えなければいけません。

また本業、副業のどちらかに業  
務上のトラブルがあったときの対  
応が大変です。私は珈琲豆の焙煎  
機が壊れたとき、IT会社の会議  
に穴を開けたこともあります。そ  
のときは、珈琲事業に力を入れて  
いたので、IT会社には頭を下げ  
て、減給を申し入れました。

ほかには、確定申告などの税金  
関係の書類の提出があります。普



通の会社員ですと、会社がやって  
くれるので、初めての税務は大変  
です。私の場合は個人事業主のと  
きから税理士に頼っています。法  
人化してからは、社労士にもお願  
いしています。知らない分野であ  
れば、やはり専門家は必要です。  
知識が豊富な人に聞けば得するこ  
ともたくさんあります。

重要なことをひとつ書き忘れて  
いました。本業と副業が同じ職種  
の場合は、情報漏えいのリスクが  
あります。私の場合は違う業種な  
ので問題ないですが、さきほど書  
いた28歳のエンジニアはまさに当  
てはまります。案件がバッティン

グしたり、本業で使用中のノウハウをほかで使いたくなることもあるでしょう。そこは企業側でしっかりと副業を規定して、契約を交わすべきです。私に関わるIT企業では、「Aという言葉を使ったBという範囲のエンジニアリングを他社で副業としてはいけない」という風に規定しています。個人が持つスキルが会社に帰属してい



### 副業OKなら定年後の夢を前倒しをしてスタートできる

企業、社員がWINWINの関係で、副業を考え合意できれば、両者は成長すると思います。

ただ、実際に4代〜5代の働き盛りで、会社から副業をすすめられたら、どうすればいいかわからなくなる社員もいると思います。そんな人のために一例を挙げておきます。

先述のIT会社の50代の社員は副業で農業を選びました。彼はもともと農業をやったかったので、会社を辞めて農業をやる覚悟はありませんでした。しかし現在

る場合は、その範囲以外で副業をするようにと規定する企業は多くあります。それをしないと会社同士の揉め事に発展する可能性があります。

社員が副業をするデメリットは、「スケジュール過多による精神的・肉体的疲労」「本業と副業のバランス」「トラブル対応」「税金関係」「情報漏えいのリスク」です。



は週3日会社に勤務し、残りの時間は農業をしています。彼は将来的に自分で作った作物を売りたいそうです。農業であれば、定年になってもずっと続けられるビジネスになる可能性があります。定年後になにかしらの夢がある人は、この仕組みがあれば前倒しでスタートできます。



### 柔軟な考えの副業は企業にも社員にもチャンスだ

労働力人口が今後減少するがゆえに政府は働き方改革を実現しようとしています。そのような背景の中で、企業も副業を推進し、雇い入れる社員を副業の社員として扱う必要が出てきます。日本マイクrosoftでは、試験的に週休3日制（週勤4日）を導入し、労働生産性が40%上がりました。この3日の休みの一部は副業に向くでしょう。IT企業・サイボウズでは、働き方宣言制度と名付け、まさに事例のような週3日で副業OKの働き方を実践しています。フルタイムではなく、週2、週3、もしくはリモートで週1だけといった雇用形態も増えていくと思います。

このような柔軟な考えの副業は、うまく使えば企業にとっても、社員にとってもチャンスです。前例にとらわれず、夢がある人は夢に向かって、スキルなどの武器がある人はより高みを目指して、副業を始めてみませんか。

#### 企業の総務・人事ご担当者さまへ

これまでは珈琲ビジネスを目指している、主に個人の方々に副業のアドバイスを実施して参りました。本資料では副業に興味がある、または推進予定である企業様のご支援を目的にまとめてみました。より具体的な内容、費用などにつきましては、お気軽に以下までお問い合わせいただければと思います。

お問い合わせメールアドレス  
tamaji@tamajicoffee.com

